

NANAIRO INFORMATION

虹の家・みかんの樹 行事予定

第2回大運動会	5月25日(金)
第2回夏祭り	7月7日(土)
第3回NANAIROマルシェ	10月13日(土)
第5回餅つき大会	12月
第3回成人式	1月12日(土)



一般社団法人 あきの会
療養介護事業所
虹の家 TEL 092-651-7325

TEL 092-651-7325 〒812-0044
FAX 092-686-3880 福岡市博多区千代一丁目15番10号

一般社団法人 あきの会
みかんの樹 TEL 092-962-0585

TEL 092-962-0585 〒812-0101
FAX 092-962-0527 福岡県粕屋郡新宮町原上1223-4

一般社団法人 あきの会 <http://akinokai.jp>



CONTENT

新年度を迎えて
平成30年度入職式
地域移行活動
博多特別支援学校見学
生活介護レポート
行事案内

一般社団法人 あきの会 虹の家

新年度を迎えて

一般社団法人 あきの会
代表理事 中村 佳奈

平成30年1月に20歳の生活介護の利用者が亡くなる悲しい出来事がありました。病気は筋ジストロフィー症です。昨年秋、心臓の具合が悪く入院となり、そのまま在宅生活を送ることなく短い生涯が終わりました。その訃報を聞いたとき、「命の尊さ」を改めて実感しました。

高校卒業時に人工呼吸器が必要な状態で利用できる施設がなく、虹の家の利用が始まりました。人工呼吸器をつけ電動車いすで外出したりレクレーションをしたりと楽しい時間を過ごし、いつも優しい笑顔を浮かべていました。そんな活動の一つ外出支援で大好きなヤフオクドームの人工芝の上に寝転んで満面

の笑みを浮かべている写真があります。その写真の笑顔を見ると「命の輝き」を支援することの大切さを痛感させられます。その入院中、「虹の家に戻りたい」と病と闘っていたと聞き、感謝の気持ちでいっぱいです。

平成30年4月に障害福祉サービス報酬改定・医療と介護報酬のダブル改定等、医療福祉の制度改革が行われています。当法人は、障害のある方々とご家族一人ひとりのニーズに耳を傾け、その実現に向け微力ながら努力して参ります。一人ひとりに寄り添い命の輝きを支援できるよう、医療・福祉のサービスの質の向上を平成30年度の目標に掲げています。



平成30年度 入職式

職員編

支援学校卒業後、虹の家・みかんの樹の就労A型に入職した3名と、職員16名 計19名が平成30年度新たに仲間に加わりました。看護師・理学療法士・作業療法士・保育士・児童指導員など専門的に医療福祉を学んだ若いスタッフも多く入職しました。大きな飛躍となる期待膨らむ入職式でした。



職員研修 親の思い

今年は、親の思いのわかる職員育成の目的で、短期入所をご利用いただいているお母さまに講演をお願いしました。



お誕生日 リクエストメニュー

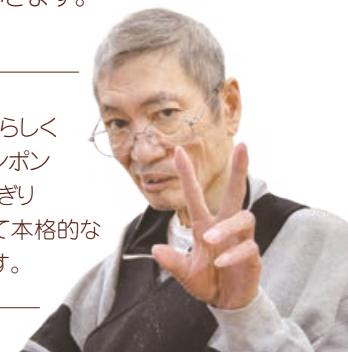
3月9日は、**南部さん**のお誕生日

職員とお母さん・妹さんに囲まれて、ハッピーバースデイ。

南部さんのリクエストは「チャンポン」でした!! 管理栄養士・調理員が特別メニューの「チャンポン定食」を作りました。今後も、入所者に楽しい食事を提供するため、誕生日リクエストメニュー・ビュッフェスタイルなど様々な工夫をしていきます。

メニュー

大根と人参の煮物(春らしく花形の飾り弁当)・チャンポン(華やかな色どり)・おにぎり ※器も、陶器を使用して本格的な雰囲気を作っています。



からふる食堂編

地域移行活動

からふる食堂さんは、就労継続支援A型の事業所さんで食堂やお弁当の製造をされています。みんな、好きなものを頼んで、「満足」しました。特に、虹の家の食事が終わると「もっと欲しい!!」と興奮してしまう乙部さんですが、この日は満腹感を味わい穏やかに食後を過ごしていました。

アンパンマンミュージアム編



平成30年2月にアンパンマンミュージアムに行ってきました。

お母さま方や大好きな看護師さんも一緒に、とても楽しい時間になりました。



成人式でのビュッフェスタイル

昼食編

虹の家で新成人を祝う会を行い、みんなでビュッフェスタイルの食事を楽しみました。いつもと違つて、好きなものを好きなだけ食べて大満足の昼食になりました。



春 満開の桜

2018



第40回 九州地区

重症心身障害研究会



に行ってきました。



平成30年3月10日(土)沖縄県男女共同参画センター理学療法士の押条・岡本が参加してきました。

今年も、発表を行い「優秀発表賞」を頂きました。

発表の演題名は「専門チーム制の取り組みについて」です。平成29年度は質の向上を目的に、「姿勢・呼吸チーム」「摂食嚥下チーム」「療育チーム」の専門チームで医療的ケアやリハビリを行ってきました。その効果判定について発表を行うとともに、意志表出が見られるようになることで筋緊張が緩和し極端な息止めが減少して日中の人工呼吸器離脱を果たした症例について報告しました。

岡本理学療法士による療育的な関わりが大きなきっかけとなった一例です。

博多特別支援学校 1年生 見学



平成30年2月9日 博多特別支援学校の1年生が虹の家とみかんの樹の仕事を見学する研修が行われました。皆さんとても礼儀正しく気持ちのいい生徒さんでした。質問コーナーでは虹の家で働いている先輩に「どんなところが大変なのか?」「どんなところが生き甲斐なのか?」など沢山の質問がありました。

とても素敵なお礼状をご紹介します!!



お忙しい中見学をさせて頂きありがとうございました。
厨房での食器洗浄、介護補助、清掃、洗濯の仕事を行っているところを見学させて頂きました。
厨房では、衛生面に気を付けながら働いていらっしゃいました。食器洗浄は、たくさんの食器がありとても忙しそうで立ち仕事では体力が必要だと思いました。介護補助では、お茶の準備をするところを見せていただきました。

とてもていねいに手の洗い方にも気を付けていました。
私は、家で洗濯のお手伝いをしていますが仕事場では、たくさんの洗濯物があり、難しそうでした。
今後は、もっと体力を身につけ日頃から清潔にし体調管理に気をつけていきたいと思います。このたびは、お忙しい中見学をさせていただきありがとうございました。

生活介護レポート

生活介護入職式

今年は、特別支援学校卒業後4名が社会に第一歩を踏み出しました。

虹の家入職式



就労移行支援に変わりました!

生活
介護
から

平成29年1月から就労を目指すための就労型生活介護を開始しました。その第一号をご紹介します。



中原さん
45歳

中原さん（45歳）は、脳卒中で左片麻痺・高次脳機能障害があり、病院でのリハビリの後、福岡県リハビリテーションセンターに2年間入所し生活訓練を受け、平成29年6月から生活介護リハビリテーションセンターにて就労移行支援を行いました。その後、歩行状態も不安定でした。まずは、歩行の安定と基礎体力をつけたための支援を行いました。歩行状態も不規則で、左の無視の改善と楽しみを兼ねた趣味の麻雀は、中原さん押しこそその配達を日課に取り入れました。また、毎週火曜日はパン販売を担当し、接客とお金の受け渡しもしていただきました。歩行も安定し、販売業務も確実にこなせるようになり、平成30年2月から「みかんの樹」の就労移行サービスを受けますことになりました。

みかんの樹では、福岡和白リハビリテーション学院での弁当・パン販売の仕事と、厨房の盛り付けなどをしています。先日お会いしたら、「生活介護の方が楽しかった。でも仕方ないね、仕事だから……」と元気にされていました。A型を目指して頑張っていますのです。

